

昭和の町 感傷旅行

ノスタルジアのファンであれば、昭和の町として知られているショッピング地区をぶらぶら歩いてみると楽しいでしょう。日本の最盛期であった昭和時代（1926年から1989年）の1950年代と1960年代の雰囲気を取り入れています。近隣の建物は、国が戦後の平和と繁栄を享受し始めた数年を称えています。商業的な運営と博物館の間にある神秘的な領域には、多くのものが存在しているようです。旧式のレコードプレイヤー、テレビ、おもちゃ、昔人気の高かったアニメのフィギュアに触れることができます。また子供が欲しくて泣き叫んだ「アイスクャンディ」と同型のものをかぶりつくこともできます。

古い倉庫内にある複数の博物館には、おもちゃやスナック、車、物語本、家の内装もそうですし、お店や典型的な学校教室など、その時代に関連した展示を行っています。週末には、ボンネットが突き出た「クラシック」バスが、当時の服装をしたガイドと訪問者を乗せて、ガレージを出発して、町巡回ルートに行く旅を体験できます。ゲストは、レストランで食事が可能です。その時代に人気の高かった食事が出されるだけでなく、驚くほど低かった当時の価格で食事ができます。博物館部分、地元のショッピング街部分、「ガラスケースの中にあるご近所」的な部分など、この場所1つで色々なものが楽しめます。年配の日本人は、感傷的な気持ちで当時を回顧し、好奇心旺盛な若者世は、古風で趣のあるものに魅力があると感じることでしょう。